

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人信州大学

(2) 大 学 院 名

信州大学大学院

(3) 大学本部の位置

長野県松本市旭3丁目1番1号

(4) 管理運営組織

職 名	認 可 時	変 更 状 況	備 考
学 長	コミヤマ アツシ 小宮山 淳 (平成15年6月11日)		
研究科長	材 ハシ トシ オ 大橋 俊夫 (平成15年6月11日)		

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称 (学位)	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学系研究科 保健学専攻 (修士課程) 修士 (看護学) 修士 (保健学)	2年	14人	28人	基礎となる学部名等 医学部保健学科

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成19年度			平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 14人			2.0倍	
志願者数	(16) 30				
受験者数	(16) 29				
合格者数	(16) 29				
B 入学者数	(15) 28				
入学定員超過率 B/A	(-) 2.0				

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成19年度			備 考
1年次	[0] 28			
2年次				
計	[0] 28			

(5) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成19年度	0人 [0]	%	左記のうち、 人 人
	(主な理由)		

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (18年11月30日)	該当なし		

7 その他全般的事項

<医学系研究科 保健学専攻（修士課程）>

（1）設置計画変更事項等

該当なし

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

（2）自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>（別紙のとおり）</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成20年3月（予定） <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・信州大学ホームページ <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価を平成19年度に受けるべく自己評価書を作成中

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1) 大学院医学系研究科保健学専攻の自己点検評価に対する考え方

信州大学医学部では、従来自主的な判断と努力によって教育・研究・診察活動を展開し、多大の成果をあげてきたところであるが、教育・研究水準の一層の向上と活性化を目指すために、医学部自らが不断の自己点検・評価を行い、改善・改革に向かって努力することとし、教授会で選出された委員により構成された点検・評価運営委員会を組織し、自己点検・評価を実施する。

2) 点検・評価の項目と評価の視点

(1) 教育研究活動に関する目的

- ・教育研究活動を行うに当たっての基本方針，達成しようとしている基本的な成果等（以下「目的」という。）が明確であるか。
- ・目的が教職員，学生等学内に広く周知され，社会に公表されているか。

(2) 教育研究組織

- ・教育研究に係る基本的な組織や各種委員会等その他教育活動を展開する上で必要な実施体制が，目的に照らして適切であるか
- ・教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され，機能しているか

(3) 教員及び教育支援者

- ・教育課程を遂行するために必要な教員や教育支援者が適切に配置されているか
- ・教育の目的を達成するための基礎となる研究活動が行われているか

(4) 学生の受入

- ・教育の目的に沿ってアドミッションポリシーが明確に定められているか
- ・アドミッションポリシーに沿って適切な学生の受入が実施され，機能しているか
- ・実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっているか

(5) 教育内容及び方法

- ・教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成され，その内容，水準，授与される学位名において適切であるか
- ・教育課程を展開するにふさわしい授業形態，学習指導法等が整備されているか
- ・研究指導が大学院教育の目的に照らして適切に行われているか
- ・成績評価や単位認定，修了認定が適切であり，有効なものとなっているか

(6) 教育の成果

- ・教育の目的において意図している，学生が身につける学力，資質・能力や養成しようとする人材像等に照らして，教育の成果や効果が上がっているか

(7) 学生支援

- ・学習を進める上での履修指導が適切に行われているか，また，学生相談・助言体制等の学習支援が適切に行われているか
- ・学生の自主的学習を支援する環境が整備され，機能しているか，また，学生の活動に対する支援が適切に行われているか

- ・学生の生活や就職，経済面での援助等に関する相談・助言，支援が適切に行われているか

(8) 施設・設備

- ・目的に沿って編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設，設備及び図書，学術雑誌，視聴覚資料その他教育研究上必要な資料が整備され，有効に活用されているか

(9) 教育の質の向上及び改善のためのシステム

- ・教育の状況について点検・評価し，その結果に基づいて改善・向上を図るための体制が整備され，取組が行われており，機能しているか
- ・教育，教育支援者及び教育補助者に対する研修等，その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか

(10) 研究活動の状況

- ・目的に照らし，研究活動を実施するために必要な体制が適切に整備され，機能しているか
- ・目的に照らし，研究活動が活発に行われており，研究の成果が上がっているか

(11) 社会貢献の状況

- ・蓄積された知的資産を社会に還元すべく，地域への教育支援・協力等の地域貢献活動が行われているか